

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【公表番号】特表2000-504015(P2000-504015A)

【公表日】平成12年4月4日(2000.4.4)

【出願番号】特願平9-527808

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 38/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 51/00

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 15/09

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/00 6 3 5

A 6 1 K 43/00

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月25日(2003.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成15年12月25日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第527808号



2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 カリフォルニア 94612-3550,
オークランド, レイクサイド ドライブ 300,
21 エスティー フロアー

名称 ザ リージェンツ オブ ザ ユニバーシティ オブ カリフォルニア

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階
氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策
電話 (大阪) 06-6949-3910



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

方 式
審 査

請求の範囲

1. 哺乳動物被験体において放射線治療の効果への腫瘍の感受性を増大するための組成物であって、インターロイキン-3、顆粒球-マクロファージコロニー刺激因子および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択されるサイトカインを含み、ここで、該サイトカインは、該腫瘍と接触される場合、腫瘍に対する免疫応答を刺激する、組成物。
2. 前記サイトカインがインターロイキン-3である、請求項1に記載の組成物。
3. 前記サイトカインが、顆粒球-マクロファージコロニー刺激因子および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。
4. 哺乳動物被験体において放射線治療の効果への腫瘍の感受性を増大するための組成物であって、インターロイキン-3、顆粒球-マクロファージコロニー刺激因子および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択されるサイトカインを発現するように遺伝的に改変されている細胞を含み、ここで、該組成物が該腫瘍の部位に投与される、組成物。
5. 遺伝的に改変されている前記細胞が腫瘍細胞である、請求項4に記載の組成物。
6. 前記サイトカインがインターロイキン-3である、請求項4に記載の組成物。
7. 前記サイトカインが顆粒球-マクロファージコロニー刺激因子および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択される、請求項4に記載の組成物。
8. 哺乳動物被験体において放射線治療の効果への腫瘍の感受性を増大するための組成物であって、インターロイキン-3、顆粒球-マクロファージコロニー刺激

因子、および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択されるサイトカインをコードする核酸分子を含み、ここで、該核酸分子と該腫瘍との接触に次いで、該サイトカインは発現され、そして腫瘍に対する免疫応答を刺激する、組成物。

9. 前記サイトカインがインターロイキン-3である、請求項8に記載の組成物。

10. 前記サイトカインが、顆粒球-マクロファージコロニー刺激因子および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択される、請求項8に記載の組成物。

11. 哺乳動物被験体において放射線治療の効果への腫瘍の感受性を増大するための、腫瘍抗原、ならびにインターロイキン-3、顆粒球-マクロファージコロニー刺激因子、および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択されるサイトカインを含む免疫化組成物であって、ここで、該免疫化組成物は、該腫瘍以外の部位に投与され、該免疫化組成物の該投与は、腫瘍に対する免疫応答を刺激する、組成物。

12. 前記免疫化組成物が、前記腫瘍抗原および前記サイトカインを発現するように遺伝子的に改変されている細胞である、請求項11に記載の免疫化組成物。

13. 前記免疫化組成物が、前記腫瘍抗原を発現し、そして前記サイトカインを発現するように遺伝子的に改変されている腫瘍細胞である、請求項11に記載の免疫化組成物。

14. 前記サイトカインがインターロイキン-3である、請求項11に記載の免疫化組成物。

15. 前記サイトカインが、顆粒球-マクロファージコロニー刺激因子および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択される、請求項11に記載の免疫化組成物。

1 6. 哺乳動物被験体におけるガンの重篤度を軽減するためのキットであって：

- a) インターロイキン-3、顆粒球-マクロファージコロニー刺激因子、および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択されるサイトカインを発現するように遺伝子的に改変されている腫瘍細胞；および
- b) 該ガンの部位に放射線治療的線量の放射線を投与するための手段、を備える、キット。

1 7. 前記サイトカインが、インターロイキン-3である、請求項 1 6 に記載のキット。

1 8. 前記免疫刺激薬剤が、顆粒球-マクロファージコロニー刺激因子および顆粒球コロニー刺激因子からなる群から選択される、請求項 1 6 に記載のキット。